

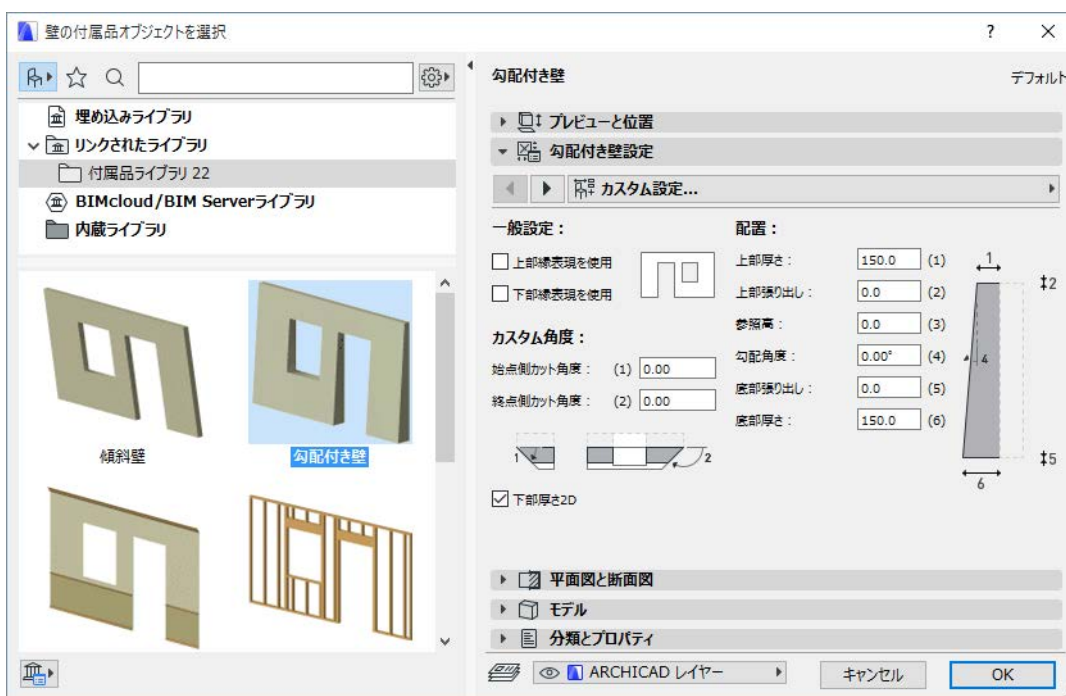
# アクセサリアドオンについて

## アクセサリアドオンの使用方法

この Archicad アドオンで、屋根、スラブ、壁要素に特別オブジェクトを追加することができます。ライブラリマネージャーから、アクセサリライブラリをプロジェクトに追加してください。

まず、平面図で既存の建物要素（壁、屋根、スラブ）を選択し、次にメニュー [デザイン] → [デザイン補助] → [アクセサリ] から対応するコマンドを選択します。

[アクセサリオブジェクトを選択] ダイアログでアクセサリオブジェクトを選択します。全てのパラメータとカスタム設定パネルでオブジェクトのパラメータを設定します。他のパラメータ（屋根勾配など）はオブジェクトの配置時に関連する建物要素の設定に基づいて自動的に設定されます。アクセサリオブジェクトダイアログボックスで OK をクリックし、次に、平面図でクリックしてアクセサリオブジェクトを配置します。



配置後、選択してパラメータを修正することもできます。

- また、対応する建物要素を選択しなくてもアクセサリオブジェクトを配置できます。
- [アクセサリオブジェクトを選択] ダイアログボックスからアクセサリオブジェクトを選択して、パラメータを設定します。平面図でポリラインを作成します。選択したアクセサリオブジェクトがポリライン図形作成方法で配置されます。

注記：

- アクセサリオブジェクトに配置されたオブジェクトは要素には関連付けられません。それぞれ別の属性を持ち、個別に移動や編集ができます。
- アクセサリを異なるタイプの要素に関連付けることはできません。例えば、屋根アクセサリをスラブに配置した場合、独立したオブジェクトとなります。

アクセサリコマンドは、配置したオブジェクトの全てのパラメータ値を適切に更新します：

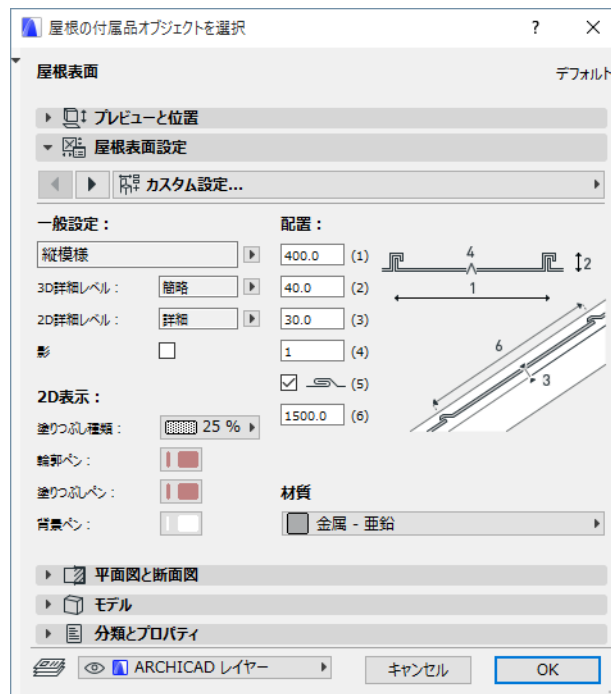
- 要素を削除すると、関連するアクセサリオブジェクトも削除されます。

- 要素を編集すると、全てのパラメータ値が同時に更新されます（接続する壁のストレッチで壁形状が変更した場合など）。

操作を簡単にするために、アクセサリオブジェクトをお気に入りに登録することもできます。オブジェクトを開いて別名に保存し、パラメータやスクリプトをカスタマイズすることもできます。

## 屋根アクセサリ

屋根アクセサリコマンドで、屋根表面や天井オブジェクトを配置できます。屋根表面は、屋根表面設定パネルに基づいて金属板やタイルを作成します。（シーリングタイプはパラメータパネルでも選択できます）。

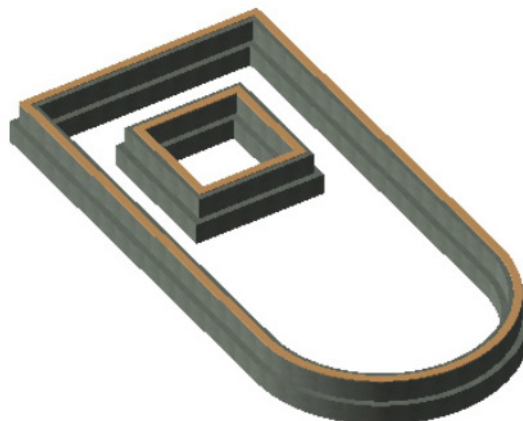


注記：表面はタイル別に作成され、各屋根面に詳細な形状を追加します（レンダリング時間も長くなります）。曲面はさらに多くのコンピューターリソースを必要とします。

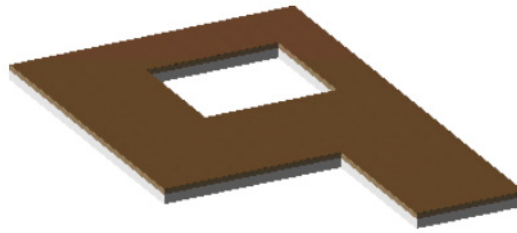
## スラブアクセサリ

スラブアクセサリコマンドを選択すると、2つのオブジェクトから選ぶことができます。

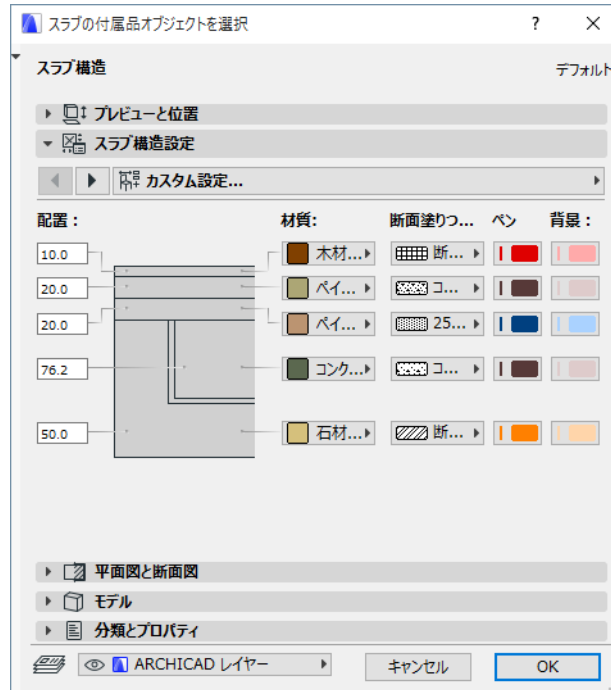
[基礎 1] オブジェクトで、立ち上がりとフーチングから構成されるコンクリート基礎を作成することができます。



[床構造] オブジェクトは、複合構造フロアを作成することができます。



[床構造の設定]、[断面]、[モデル] パネルを使用して、必要な設定を行います。



## 壁アクセサリ

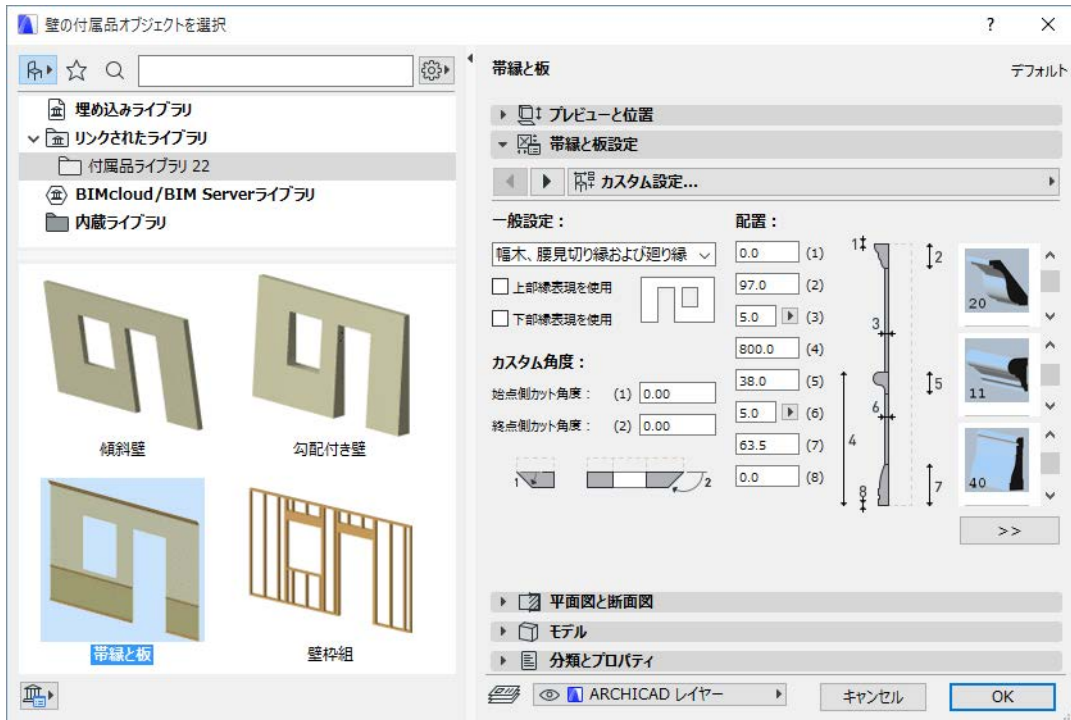
壁アクセサリコマンドで、壁の詳細部分を配置することができます。

[帯縁と板] オブジェクトは、最大3つの選択可能な帯縁、またその間に板を追加して、内装壁の詳細部分を作成することができます。

オブジェクトのカスタムパラメータは、壁アクセサリオブジェクトの選択ダイアログボックスのカスタム設定または全てのパラメータパネルで設定できます。パラメータは2つのパネルで異なる基準に従ってグループ分けされている。

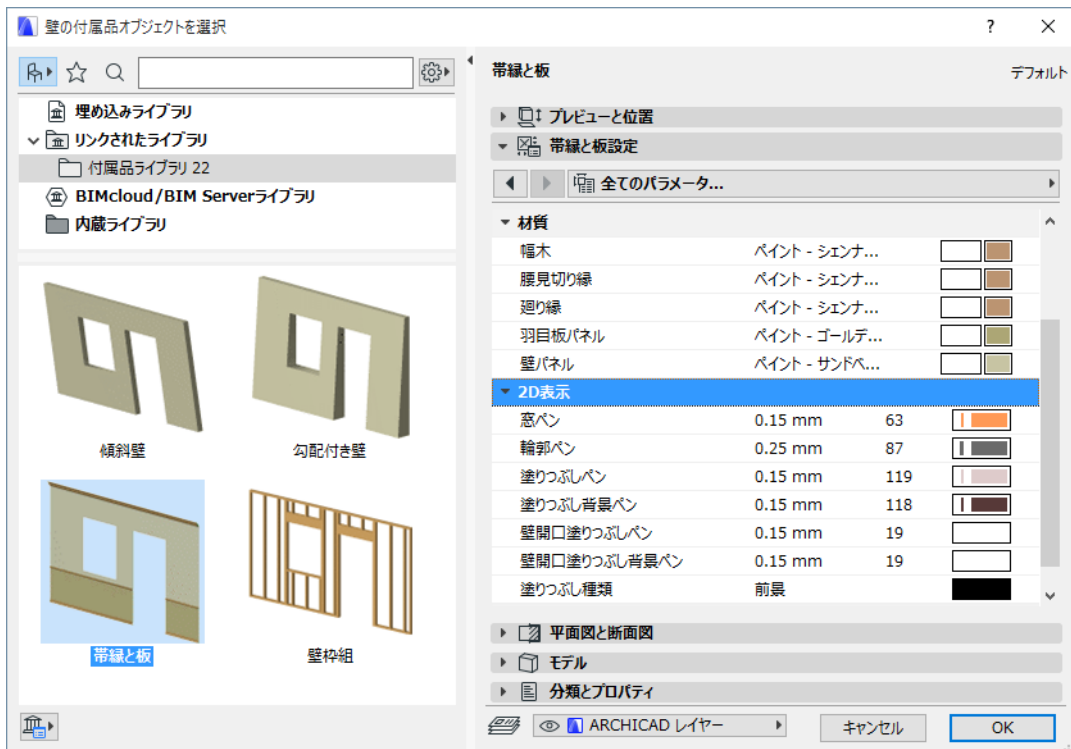
カスタム設定:

- 一般設定、形状、カスタム角度の設定

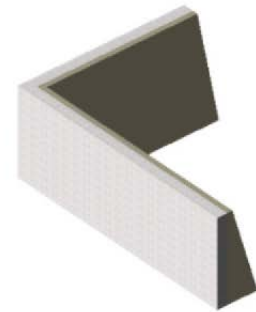


パラメータ：

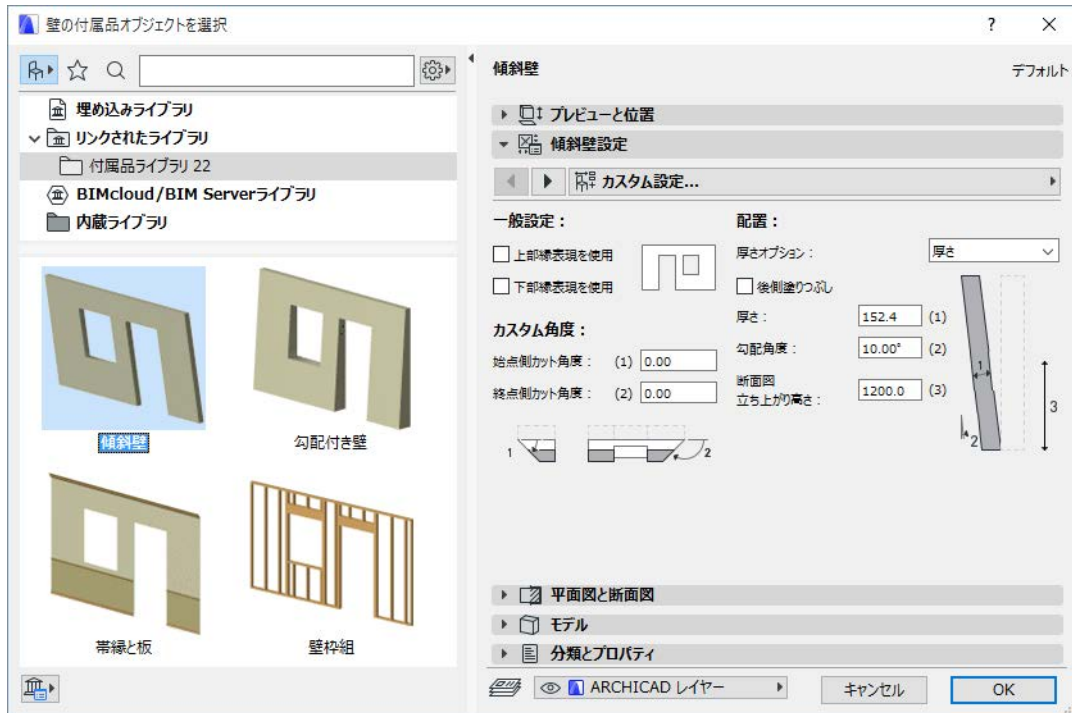
- 材質と 2D 表示の設定



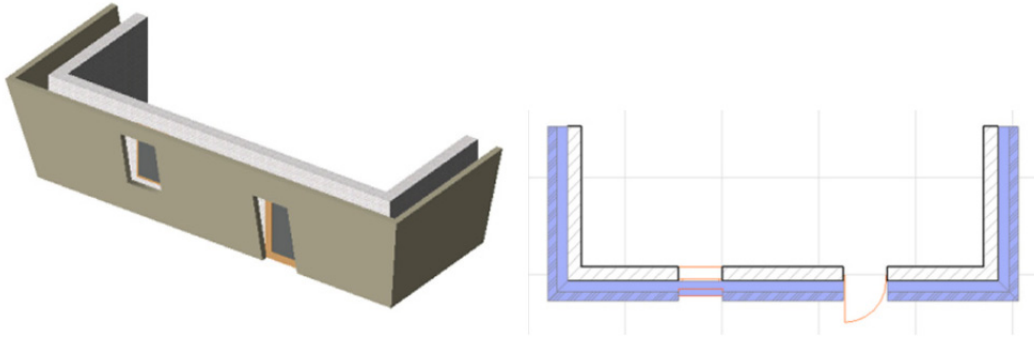
[ 勾配付き壁 ] オブジェクトは、勾配の付いた石材シートや他の要素を壁に配置し、上部と下部で異なる厚みを持つことができます。オブジェクトは壁の上下部より指定した距離高くあるいは低くすることもできます。



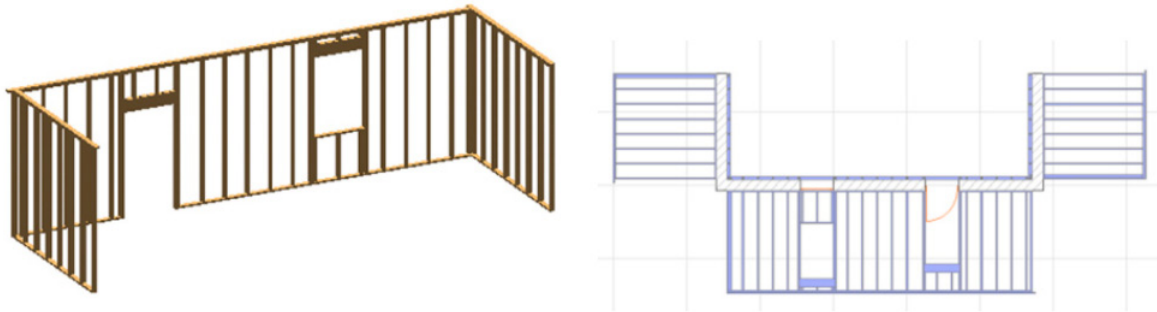
[ 傾斜壁 ] オブジェクトは、配置する壁と全く同じですが、傾斜角度のパラメータを持っています。



平面図では、傾斜壁シンボルはオブジェクトの輪郭と設定した高さ（デフォルトは 1200mm）の断面を表示することができます。



[壁の枠組] オブジェクトは、壁の枠組みを表示するために使用できます。直角の角や接続部の枠組みも正しく処理できます。窓やドアでは二重枠組やパラメトリックな上枠などを追加できます。上枠板は分割したり拡張して接続壁で重ねることができます。



[2D 表示] のパラメータリストで枠組立面図表示オン / オフを切り替えることができます。パラメータをオンにすると、3D 形状を平面図上で編集できます。

制限：ドアや窓の開口には元の壁面に対して垂直の水平エッジがあります。このオブジェクトのパラメータスクリプトは木材計算を行って、各部分の有効断面サイズと長さをリストします。このリストは全体の木材量を予測するために使用できます。

#### 免責事項：

Goodies は Archicad の基本機能に加え、特定の機能提供するために GRAPHISOFT が開発した無料のアドオンです。Archicad 20 以降より、Goodies Suite インストーラから全ての Goodies を一度にインストールできます。これらは GRAPHISOFT がもうサポートしていないレガシーコードに基づいています。自由にご利用いただけますが、正しく機能しない可能性があり、修正やアップグレードはできません。